

【学級活動・小3・「人権月間の取組で、1・2年生と協力しよう」】①

本時のねらい

人権月間を充実させるために、1・2年生と協力してできることについて、多様な意見の良さを比べ合いながら、合意形成を図ることができる。

ICT活用のポイント

互いの考えを生かしながら、より主体的に話し合いができるよう、話し合いや思考の可視化を図る。

事例の概要（本時の学習）

【つかむ】

ビデオメッセージや調査結果から本時のめあてをつかむ

代表委員からのビデオメッセージや、1・2年生のアンケート結果を確認し、本時のめあてをつかむ。

<本時のめあて> 1・2年生が活躍できて、書いてくれる人がさらに増える活動を決めよう。

【出し合う】

自分の意見を伝え合う。

【事例におけるICT活用の中心場面①】

○ 1・2年生との活動について話し合う場面で、1人1人が自分の意見を伝えたり、相手の意見を確認し質問したりすることができるよう、**回答共有機能**を活用する。

【比べ合う】

似た意見をまとめて、仲間分けをする。

【事例におけるICT活用の中心場面②】

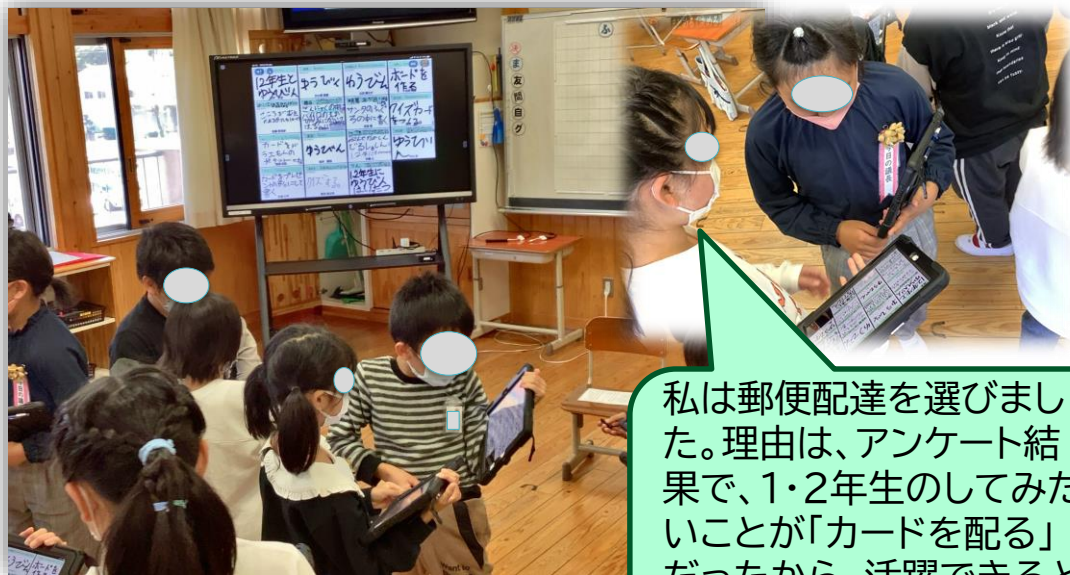
○ 出された意見について、共通点や相違点を確認しながら、分類・整理できるよう、**学習支援ソフト上のシンキングツール**を活用する。

【まとめる】

学級としての考えをまとめるとともに、学習の振り返りをする。

【学級活動・小3・「人権月間の取組で、1・2年生と協力しよう」】②

【事例におけるICT活用の場面①】



私は郵便配達を選びました。理由は、アンケート結果で、1・2年生のしてみたいことが「カードを配る」だったから、活躍できると思ったからです。

○1・2年生が活躍できることについて、
学習支援ソフトを活用し、事前に提出された意見を共有することで、互いに伝え合いながら、他者の意見のよさに気付くことができる。
→共有した回答を基に、自分が興味のある意見の人と伝え合うことで、内容だけでなく提案理由の共通点や相違点に気付くことができた。

【事例におけるICT活用の場面②】



「皆が楽しんでいる写真を貼る」は、1・2年生が簡単にできるし、写真を見る人が笑顔になれるから、「ボード」のグループに入れるといいと思います。

○それぞれの意見について、提案理由を伝え合い、その共通点や相違点を踏まえ、学習支援ソフト上で、仲間分けをする。
→「比べ合う」場面で、一つ一つの意見について、操作をしながら分類した。その際、「本時のめあて」に沿って、観点を基にそれぞれの意見を比較し、分類していったため、互いの意見を大切にしながら、活発な議論を行うことができた。

【活用したソフトや機能】

・学習支援ソフト ・回答共有機能 ・大型提示装置